

5 水面の埋立て又は干拓

○ 方法

【基準】

埋立て又は干拓により生じる護岸、擁壁等は、周辺景観と調和するよう形態、素材等に配慮すること。

【解説】

水面の埋立てや干拓により生じる護岸、擁壁等については、周辺の自然地形との調和や、場合によっては親水性にも配慮した形態とし、自然素材に似せたコンクリート材等を使用するなど、柔らかさを演出することが必要となります。

【配慮事項】

- 自然地形と調和した形態とする。
- 自然素材をできる限り使用する。
やむを得ない場合は、自然素材に似せたコンクリート材等を使用する。
- 護岸については、親水性にも配慮する。